

商 況

販賣旬報 第176號 昭和6年1月12日

製鐵所販賣部

鐵のブローカー 1、此處に書こうとするブローカーとは、4社の様に自己の名に於て買付讓渡をなす様な者の謂でなく、主として問屋と問屋間、稀にはメーカーと問屋、または問屋と實需家間を繋いで、單なる介在者として口錢を取つて鐵の取次ぎをなして居る者のことである。それも主として東京に於ける状態で大阪の事は復聞きに過ぎないから誤聞無きを保し難い。

2、東京には現在20名足らずのブローカーが居る。

之を大別すると店舗を持つて營業して居る者と自轉車1臺を資本として東奔西走して居る所謂ランニング、ブローカーの2種になる、今の處店舗を張つて居る者は2、3名に過ぎない。

各問屋に純然たる專屬のブローカーと云ふものは無いが永年出入して居る間には自然と其問屋に特に多く依頼される者が定つて來て、現在では主要な問屋にはこう云ふ者が大抵1、2名づゝ居る、然しこれは只比較的の事であつて他のブローカーも出入することは勿論である。此點は一才大阪と事情が異なる處で、大阪では此專屬に近い様なブローカーは無く、安く買へるものなら誰れでも、高く賣れる者なら誰れ彼れなく、要するに商買には人情なく全く自由競争に委せられて居る そうであるが、此邊が東西人情の異なる處ではあるまいか。

好景氣の時代には其人の得意によつて型物とか棒鋼とか鋼板とか其取扱範圍が定つて居つたものであるが、現在の様な不況になると其區別も追々と薄らいで何でも取扱ふ様に變化して來た、然しそれでも大體の區別は付いて居る様である、其内で棒鋼と鋼板はくつゝいたもので、大凡同じ人が取扱つて居る。

3、口錢は時の好不況により變化すること勿論で、3、4年前の10貫建の頃は10貫に就て初めは5錢位拂はれて居たが、不況となるに従つて取扱數量少い型物は3錢數量の多い丸鋼は2錢位となつた、然し今は100疋建で

型物及鋼板 5錢 大口(概れ5噸以上) 3錢
棒 鋼 3錢 丸 鋼 2錢

と云ふ様に漸次下落して來た、大阪は東京よりは多くて、棒鋼5錢、型钢8錢位との事である。

即ち腕に就て東京は30錢乃至50錢、大阪は50錢乃至80錢位の収入となる。其口錢は東京では原則として買手が負擔するが大阪では賣手が負擔することになつて居る。

東京では主として買の爲にブローカーを使用し、賣り出すことは滅多にない、然るに大阪では買も勿論あるが賣もある、これも東西商買道の異なる處で東京でブローカーを使つて賣に出すと、あすこの店は品がダブ付いて賣に出たと云はれるからそれを嫌つて殆んど賣は出さないが、大阪は賣もテスト、買もテストそれ等の斥候の硬軟の報告に基いて策動しようと云ふ東京よりは激しい商買振りと云はれて居る。

口錢には以上の様に定つたものを受けるものがあるが時には値段を委されて、其以上賣得、其以下買得と云ふ鞘取りの方法もあるがこれは一般には好まれない。

東京に於けるブローカーは主として市中の問屋と問屋間の取引の中繼をなして居るが、其内一、二の者は東京大阪間を繋いで居る者があり、また横濱からも2、3名の者が出て來て兩者を連結して居る、それと伸鐵工場と問屋の間に立つて商買して居る者も1、2名はある。

之等のブローカーの1ヶ月の収入は其人の腕により千差萬別であるが、概れ100圓を中心として最高2、300圓から最低4、50圓間と云はれて居る。支拂は完結したものに對し月末勘定が一般の定則である。

4、此ブローカーなるものゝ歴史を尋ねると遠く明治30年代に遡らなければならない。當時梅岡平七商店に居つた泉藤吉氏が獨立した時東京と大阪間の取繼ぎをなしたのが抑々の初まりで、之が東京に於けるブローカーの鼻祖と云はれて居る。其頃は東西共鐵の問屋の數も至つて少く相場の變動も僅少でブローカーの必要も殆んどなかつた位である、其後鐵の取引が漸増するに従つて二、三の者が之に手を付けたが草創時代で之と云ふこともなく大正の世に遷つたのである。

然るに鐵鋼の總ての基調をなす世界大戰が勃發するに及んで輸入商と問屋間及び問屋同志の取引は俄然激増してブローカーの數も斷然増加して來たのは自然の數である。然し其當時のブローカーなるものは現今のそれと甚だしく趣きを異にして、同じ仲介者であつても相當の信用と若干の資本を持つて居たので賣買共皆自己の名儀で之を行ひ、問屋も輸入屋も平氣で荷物を貸して居つた、

従つてブローカーは口銭稼ぎと云ふよりも 鞆取りによつて利潤を得て居たのである。

其後大戦中間屋の数も益々多くなるに従つて、使用人も増加し、其内には主人の成金振りに刺戟され、將來の100萬長者を夢みて獨立し、先づブローカーよりと云ふ連中が續々と出て来るに及んで漸く玉石混交の状態となつて、問屋も安心して荷物を預けられなくなる様なものもポツポツと出現して來たのでブローカーにも鞆取りでなく、口銭によつて仲介するものが出て來たのである。

越えて第2の劃期たる關東大震災後は此自己の名によつて鞆取りをなすブローカーは全然其影を潜めて現在の如き所謂ランニング、ブローカーの時代となつたのである。此の大震災は問屋も根底から整理したが、ブローカーも變遷せしめたのである、即ち歐洲大戦に出現したブローカーは大震災迄に消滅し其後は復た新たな現今のブローカーの出現となつたのである。

5、如何なる者がブローカーとなるかと云へば鐵に詳しくなければ出來ないから其前身は鐵商關係たること勿論である。主人の店が没落したとか商買換をしたとか云ふので已むを得ずなつたものと、店の待遇や將來の自己の働きを天秤に掛けて、こんな事なら一層獨立してと云ふ風な積極的な者の2種類がある。

然も此仕事は全然人の禪で角力を取るものであるから、よほど頭が働き機敏に活動しなければ出來ない。「今日は！何かありませんか」では商買にはならぬ、各問屋の手持品は勿論、何時どんな品がどの店に入るか、何處の店ではどんな見積りを取つて何時納入しなければならぬかと云ふことや問屋間の感情の親疎、信用状態の概念から番頭さんの氣質まで飲み込んで居なければならぬのである。町を巡つて居ると『其品なら製鐵所の第22次一星丸が10月15日に東京に着いてあすこの店へ入るからそれを聞いて來ませう』などと云ふて居るブローカーの話を耳にする、それでなければ商買は出來ないのである。

假に20人のブローカーが居つたとして100圓平均のブローカーチを得るものとすれば1ヶ月2,000圓となる、平均噸に30錢の口銭とすれば、7,000噸足らず、40錢としても5,000噸の鐵は是等の人々の手にまつて動くのである。

6、ブローカーは其主要なる目的たる各問屋間の有無相通ぜしむるばかりでなく、或は市況の連絡機關としても相當の効果を擧げて居るのである。

また、米や綿絲などは各取引所があつて、標準たるべき公定相場が出來るが、同じ主要商品たる鐵鋼に就いては悲しい哉未だ我國では1箇所の取引所の設置も見ず従

つて市中に於ける相場たるものは各商店勝手に定めたもので消費者としては誠に據り處の無い不安心なものである、然るによくしたもので、今日の處では大體に於て各問屋の値段も一致し自然に成行相場なるものを形成して居るのは何によるのであらう、此概ね一致した値段と云ふ空氣を作る處のものは主として此ブローカーが各店の強張硬軟を綜合して一致點を見出し、取引所の機能の一部を代行して居るからである。

此機能は特に大阪に於て認められる様である即ち大阪では各店殆んど一致した値段を稱へる様だが東京は未だ大阪には及ばない様である、これも東京が大阪に比し善く言へばオツトリとし、悪く云へば不熱心と云ふことになりはしまいか。

7、或人曰く「店員が今少しく敏活に働けばブローカーなるものは不必要である」と、之れにも慥かに一理はある、店員が市場に精通し機敏に活動すれば、何も餘分に餘30錢とか50錢とかの口銭を拂はずに済むのであるが、今日の様取引場の無い市場で他の商品に比し、非常に多端に亘つて居る鐵鋼で、市中の状況を知悉することは餘程の明敏と絶大の努力を必要とするからそこで已むを得ずして之を補ふ爲めブローカーの存在が認められるのである、然し結局は補助機關に留まるから、不況が深刻化するほど其活動範圍は縮小されて來る、今日のままの状態では問屋と同様行き詰まらなければならぬ運命にあると思ふ、又一面小なりと雖も獨立したものであるから、遂々小成に安じ易く、イーザー、ゴーイングと成り勝ちである、此處にも大なる缺點がある。

「歴史は繰り返す」前掲のブローカーの變遷を玩味すれば自ら其處に將來行くべき道と反省の材料が見出されるではあるまいか。

副製品上半期生産高 一般的生産豫定高の減少により當所副製品はベンゾール類以下供給餘力著しく不足し引續き良好なる契約状態を示しつつあり。

本年度上半期中の實生産高下の如し。

純ベンゾール	1,123 噸	1 號クレゾール	88 噸
純トルオール	154 "	2 號クレゾール	26 "
モーターベンゾール	1,935 "	2 號石炭酸	51 "
100%ベンゾール	12 "	良質ピツチコークス	494 "
ソルベントナフサ	308 "	高爐セメント	46,220 "
製鐵テレメン油	47 "	並等鑛滓煉瓦	16,491,517個
キシロール	3 "	鑛滓バラス	41,729立米
硫酸安母尼亞	5,493 "	鐵筋用バラス	8,771 "
ピツチ	11,495 "	鑛滓ターバラス	1,464 "
クレオソート油	5,266 "	酸性芒硝	45噸
粗製オプサリン	712 "	鑛滓綿1級品	102 "
アンスラセン	942 "	同 2級品	48 "
舗道用タール	1,716 "	同 並等品	92 "
消毒藥	2 "		

中型山形共販理事會—11月積締切

月日場所 10月1日製鐵所東京出張所

出席者 鋼管、東海、製鐵

主なる議事

1、11月積先物割當に関する件 11月積中型山形の申込は英國の金本位制停止發表後に於ける、鋼材としての最初の申込なるを以て將來に於ける各種鋼材に對する市場の趨勢の判斷材料としても誠に興味多きものとして一般に其成行を注視せられたるに其結果は全然其の豫想を裏切り前月の申込に比し 4,700 餘噸の激減を示し別表記載の如く僅に 1,200 噸に留まつた。

此締切前の氣配としては豫約 3,000 噸ありなど、噂せられて一部の考では尠くも 5,000 噸には達するものと察せられたのに、前途の不安に脅えたものかそれとも或は其他に原因あるかは知られど何時の間にやら豫約の噂も立消えとなつて斯る貧弱な結果となつた。如何に現況が混沌たるとは云へ、あまりの減少振りには啞然たるものがある。依而協議の結果申込數量は全部是を引受けることゝし注文者の希望 並に比率等を考慮し夫々割當を決定した。

申込成績表

品 種	京濱揚	阪神揚	其 他	計
等 邊	150	794	65	1,009
不 邊	50	151	—	201
計	200	945	65	1,210

9月中三港輸入鋼材—稍増加

1、大勢としては8月と大なる差は認められないが、賦力と線材の増加が氣に掛る。總數量は8月よりも1,000 噸以上増して居る、其主要な原因も此二者が其責を負はなければなるまい。

2、條鋼類では丸鋼が不相變 1,000 噸以上の輸入を見せて居る、其主要なものは例の通り 3/16" や 6mm が 400 噸近く入つて内地市場の値段を軟化させる材料となつて居る。平が 800 噸近く入つたが普通のものとしては小型が大部分を占めて居る、何れは當所の積出の恢復と相俟つて市場を攪亂するのではあるまいか。

型物の現在に於ける状態と此表を照合して見ると等山不等山は本年累計で共に 300 噸内外と云ふ自重にも不拘市場は一向何等の恩恵も蒙らず、寧ろ損の材料と化して居るが其原因は何處に在るか、メーカーの統制不十分か問屋の結束足らざるが兎に角、此數字では罪を外注に負はせる事は出来ない、國內に於て自ら之を處理せればならぬ問題ではあるまいか。

之に反し外注激減を其儘市場に反映させて居るのは溝形である、前年同期に 4,000 噸以上の輸入のあつたのに本年9月迄で其1割の 400 噸しか入荷しない事は現

在に於ける溝形好調の主要な原因を形成した事は否まれまい。工形は本年に入つて 150 噸も輸入されて未だ自重の餘地が残されて居るだけ内地の現状は遠く溝形の堅調に及ばないのである。

3、鋼板類では 0.7mm 超の 1,500 噸中には其昔奔騰した 1/8" が、忘れられた今時分ドカリと 500 噸以上も混じつて來て邪魔物扱ひにされて居る、苦しくとも憤しむべきは外注なる哉である。0.7mm 以下は稍減少の見べきものがあるが、今一層の努力を要する様にも考へられる。賦力は成る程内地生産では其需要の 2 割位しか充たし得ないにしても9月の 5,000 噸は如何に需要期とは云へ過大ではあるまいか、特に英國があのような状態になつた今日特に其前途が氣になるのである。

4、軌條も殆んど没落したと見てよい。線材が 500 噸許り増加したが、之れも永い間の好調が齎した結果と思はれる、特に横濱が比較的多い數字を示して居るのは共販の方針に依るもので當然已むを得ないものであろう、然し此線材の輸入も神戸製鋼の増産により其影を潜めるのもあまり遠い將來でもあるまい。

シート・パイリングの絶滅は何時見ても愉快ではあるが、之に取つて代つた國産品が早く圓滑な生産をなして需要者に満足を興へることは當然の義務と云はなければなるまい。

5、昭和6年も餘す處3箇月、輸入も其3/4を経過したが、今日迄の状勢を見ると、激減したと云はれる昭和5年の約 23 萬噸に比し本年は其半数にも足らぬ 12 萬 6,000 噸である。

此趨勢を以てすれば此品種の本年に於ける輸入數量は 18 萬噸内外と想像せられるが、數年前の輸入 80 萬噸の概念に比し實に隔世の感がある。(三港輸入數量表後付)

ブラツセル齋藤囑託通信 10月3日入電

Sterling 崩落に因る市場の大動搖は未だ止まず。

現在値段に變化なきも實質上は單なる公表値段たるに過ぎず。

10月10日入電 市況變化なし。従前通りの値段にて金 Sterling を以て若干取引せられたり。

9月18日發信

(1) ブラツセル市況 市況は近來買控へとメーカーの賣あせり競争の爲漸落を報じ先週は棒鋼 3—1—0 を唱へ居り候處今週に入りてより獨逸財界幾分目鼻つきたと英國の市場は政變と財界不安の爲め却て大陸の鐵鋼界に好影響を興ふると云ふ人氣作用にメーカーの態度寧ろ硬化し其の採算上よりも此上の安値には應じ難きこと尤もと存ぜられ當國第一流のメーカー中には棒鋼 3—5—0 を主張し、ために市場より引上げたもの有之候へ共大

體は商談薄の市況沈靜にして單に Marketst stagnant と稱するを得べき状態に御座候。

今週の市場相場次の通り。

	Export	Inleand
Bars(base)	£ 3—2—0	fr. 575
Angles(")	3—1—0	580
" (medium)	3—2—0	585
Joist(N. S.)	3—1—0	570
" (B. S.)	3—2—0	585
Blooms(6"to8")	2—14—0	—
" (2"to 2½")	2—17—6	—
Sheet Bars	2—18—0	550
Plates(Thomas5mm)	—	630
" (¾")	3—12—6	—

(2) 白耳義賃銀問題 目下白耳義鐵鋼界の大問題は賃銀引下案にしてメーカー側は相場の漸落、ストックの滞積、採算不引合と一方物價指數漸落の爲め更らに2期を畫して5%宛合計10%の賃銀引下案を發表、是れを勞資混合委員會に諮りたる處勞働者側の容るゝ處とならず遂に工勞大臣の調停を煩はしたるも未だ意見の一致を見ず双方中々強腰の爲め今後如何なるべきや4萬人の鐵鋼職工の問題なれば政府も此の成行を案じつゝあり何分昨春以來既に30%の引下を斷行したる次第故假令生活費幾分の下落ありたるも此上の引下は容易に職工側の承諾する處なかるべしと存ぜられ候。

(3) 歐洲鐵鋼界雜事

1、國際鐵塊カルテル改造協議會 9月30日開催に決定の由。

2、獨逸フェライニョーグテ・シュタールウエルケ工場閉鎖。打續く不況と最近の同國金融市場の動亂の爲め同社は先きにルールオルト・マイデリヒの數工場を全部閉鎖せるが引續き4,000名の職工を有する(恐慌前は8,000名)ドルトムン・ト・ホールデの諸工場閉鎖の手續中なりと云はる。

3、本年上半期白耳義(ルクセンブルグを含む)鐵鋼輸出統計は次の如し。

	本 年	昨年同期
銑鐵及鑄鐵管	57,100t	70,500t
半製品(塊及ブルーム、ピレット)	169,900	233,600
鋼片	1,453,100	1,635,400
製品	116,100	133,000
合計	1,796,200	2,072,500
鋼片中重なるものは		
棒鋼	573,900t	611,300t
板鋼	265,700	279,800
型鋼	242,400	301,300

4、9月1日現在白耳義高爐活動狀態

Hainant & Brahant

地方工場名	基 數	火入中	休基	一晝夜製鋼高
Sambre et Mosel'e	7	7	—	1,750tons
Moncheret	1	1	—	70
Thy-le-Château	4	3	1	495
Hainant	4	2	2	500
La Piovidence	5	5	—	1,600
Clabeeg	4	3	1	650
Boël	3	3	—	600

Liège

地方工場名	基 數	火入中	休基	一晝夜製鋼高
Cockerill	7	6	1	1,622
Ougrée	10	7	3	1,180
Angleit-Athus	9	6	3	875
Esperance	4	3	1	540

Lukendourg

				(鑄鐵)
Halanzuy	2	1	1	78
Musson	2	1	1	91

5、(此ルクセンブルグは大公國にあらずして白國の一地方とす)

本年 9月1日	62	48	14	9,882
同 8月1日	62	48	14	9,636
1913年 9月1日	58	51	7	6,931

5、ルクセンブルグ大公國鐵鋼業近況 7月末高爐活動狀況の47基中火入中のもの僅かに25にして其内容は

Ar bed-Terrs-Kouges	26	中	15
Hadir	13	"	6
Rodange	5	"	4
Stainfort	3	"	0

にして製鋼量は

	7月中	6月中
銑 鐵	177,300t	172,205t
鋼	182,200	175,479

尙昨年7月中の生産高は銑 185,043t、鋼 164,889tに

して本年自1月至7月7箇月間生産量は

銑	1,219,781t	(昨年同期)	1,526,807t
鋼	1,194,791"	(同)	1,358,890"

東 西 市 況—閑散—總賣り氣分

大陸の不安はこれぞと云ふて具體的に反映したものは無いが、全般の空氣を濁らした事夥しく、追々に市場人をして前途の不安を高らしめ、買氣は全然地を拂ひ、總賣りの氣勢を助長し、從つて利喰い急ぎとなつて品薄物も反撥力を消し、實需家筋も見送りの態度となつた爲め、此需要期節に於て稀に見る閑散振りで今から不需要を氣に病む筋もある程である。然し永い間の買控へから在庫薄となつて居る爲め値段其ものは大して變化はない様である。

東 京 市 況

丸 鋼 6mmは外注品の入荷に押されてナリ質状態を續け、9mmは荷動は尠いが手持薄の關係で、僅かではあるが順調を保つて居る、12mmは伸鐵が5圓80錢位より下値は賣り溢るので此邊を往來し、ベース物は環境の不良狀態が改まらざる限り一寸立直りは見込なしと見られて居る、仲間取引では5圓70錢以下のものは見當らぬが一寸した見積りとなると9mmを混せて此値段なれば好い方と云はれる有様である、中丸以上荷物も値段も共に動かず。

角、平 鋼 角は9mmが比較的強保合を見せて居る外は問題とならず閑却されて居る、平は¼×¼が7圓

以上を稱へられ、其他の $\frac{1}{4} \times 1$ の6圓60錢、 $\frac{3}{8} \times \frac{3}{4}$ 、1が6圓40錢揃みなど部分高を演じて居るが概して弱保合を傳へられて居る。

型鋼 小型山形は僅少の入荷と先行入荷氣構へから一段落となり、 $\frac{1}{8} \times 1\frac{1}{2}$ が7圓80錢、 $\frac{1}{8} \times 1$ が7圓20錢を反落歩調を示すに至つた。中型等山は値段は釘付けであるが氣持は寧ろ弱いと見られ、大型等山聊か品不足の感はあるが値段へ響かず、不等山共販分野は弱含みと見られ其他動かず、溝形は $\frac{5}{8} \times 3 \times 6$ が未だ7圓50錢位の高値を保持して居るのが白眉で其他 $1\frac{1}{2} \times 3$ 、 2×4 、 $3\frac{1}{2} \times 10$ などが高値に踏み留つて居る等不相變の堅調を持続して居る、工形は未だ恵まれず可もなし不可もなしの程度を保つて居るが業界が落ち付けば今迄の手當薄が利いて相當活躍するではあるまいかと見て居る筋もある。

鋼板 中板は硬軟處を異にする様になつた、即ち華かに咲いた1'6も追々と凋落の色濃く8圓50錢臺を割らうとして居る一方4'5は7圓5、70錢の間を往來して慘憺たりし昔の様を尻目に掛けて居る、2'3は鈍調を示し3'2は區々状態に移り初めたと見られて居る、6'0一步一步恢復し3'6は剪斷の關係で特に堅調で7圓揃みを傳へられて居る。9mm以上も手持の消化に連れて反撥氣勢と見られて居る。

大阪市況

丸鋼 へるへる、世界をおしなべての取引高と、さうして、財産と。ふえる、ふえる、破綻するものと、さうして失業軍と。こうした現状に目覺めて來たのか昨今大阪市中の一流問屋筋では遅蒔き乍ら販賣の統制を取らんと氣分やうやく濃厚となりつゝあるやうであるが下手な姑息な手段を取れば却つて物笑ひの種となると見る筋もあるが兎に角最近の我鋼材相場は伸びぬまでも下げ止まつた事は幾分注目に値するものがある。6mmは外注品の入荷にて軟化し、9mm—19mmは市場品薄にて睨りなれど相場は安き賣物の影を没したる程度にて5錢位騰りたるのみと云はれて居るが中でも民間寸法ものは比較的順調に消化されて不相變強調持續。中丸は60mm及65mm、100mmを除き外は當所積遅れにて極度の品拂底にて前旬來3、50錢方昂騰した。

釣下手の竿に來て寝るとんぼかな

角、平鋼 角鋼中65mmは市中品掠れにて6圓50錢カッチリに取引せられて居る様子にて其他は前報と不相變平鋼は引續き凡調を辿つて居る。

型鋼 小型等山は當所積遅れ一掃の聲と伸鐵の出廻りにより漸落歩調にあり。中型の中で 6×50 、 6×65 、 $9 \times$

75等は市中皆無にて30錢見當の値上げを見せて居るが共販の値下げ發表と共に當所の積出案内により目下居据り状態にて目先も幾分軟弱を氣構へられて居る。不等邊山形鋼不變。溝形鋼 50×100 、 $2\frac{1}{2} \times 5$ 、 3×6 は引續き上向きつゝあり。工型鋼不變。

鋼板 中板は舶來品の入荷相當數量に登り、下押し止まず。 $3.2mm \times 3' \times 6'$ 等は6圓80錢の賣物ありたる等の噂あり7圓臺割れも實現近しと豫想されて居る。而し乍ら4'5mmはシーヤ、問屋共手持薄の態にて7圓4、50錢を唱へられて居る。厚板變らず。

線材 積る惡材料にて需要期にもかゝらず先行不安の爲め見るべき商内なく四圍の環境は全く悲觀の外なくまだまだ下押すべき道程にあれども只々品薄といふ一縷の希望に支へられて居る有様と云はれて居る。大陸物は前旬來約1圓、當所及神戸製鋼品は50錢方の下落振りを示して居る。

鋳力板 引續き不味沈靜の域を脱せず、唯100封度ものは弗々入荷あるも目下需要期として順次消化されて居る。170封度ものは最近外注品の入荷あり市場ストック漸増の態にて不冴。

販賣旬報 第177號 昭和6年10月22日 製鐵所販賣部

鋼材年報第5號に就て

1、例年當部で編纂する鋼材年報第5號が漸く印刷出來たに就て氣付いたまゝ2、3を擧げて見る。

2、附圖に就て、數字を見るより圖を見た方が早いと思つたので第1表の其3「昭和5年主要鋼材内地生産高及輸入高」を圖示したのが「昭和5年主要鋼材需給表」である。一瞥した處では昭和4年頃の年報と比較して輸入を示す「赤」が甚だしく減じた事である。

シートパイル、鋼板 BWG No. 30、鋳力板、線材、鋼管を除けば誠に寥々たるものとなつた。

丸鋼で輸入を必要とするものは時セクションのリベットバー、ホールトナットなどを使用されるものが主要なものと讀まれる。

角鋼は9mm以下及12mm—16mmが若干刃物用に輸入が必要なだけである。平鋼も其大部分が刃物用の特殊品と考へられる。こうして見ると棒鋼普通品の輸入は昭和5年に於いて殆んど其影を没したと云ふてもよからう型鋼に未だ赤色がホツホツ残されて居るのは一つは使用者の舊慣墨守に依ることであるが當所型鋼の徹底と國產愛用の精神の發露によつて此赤色も漸次無くなることであらう。

シートパイルが此様に「赤」一色を誇るのも昭和5年

が最後で來年の年報がらは「黒」色の當所製品が之に代る様になる。

鋼板は昭和 6 年では大部分減つたが昭和 5 年の鋼板の輸入は未だ未だ餘程手控へる餘地があつたのである。

鋳力板は内地の生産設備が増加しない限り如何とも致し難い。珪素鋼板や縞鋼板は圖にして見ると氣に掛る程多い。軌條は主要なものゝ輸入は無くなつた。

線材も今暫くは「赤」を許すが神戸製鋼の進出で「青」に塗り代えられるのであらう。

次は今一つの圖の「鐵價の變遷」である。

「指數」と「價格」を同じ圖に現はすと云ふのも變であるが、單にカーブを知る爲には一所にした方が便利と思つて斯くしたまでで、指數が上に書いてあるから高いなどゝ誤解の無い様に願いたい。

洋鐵指數は日本銀行調査の物價指數中の洋鐵を採つたもので、明治 33 年 10 月が基準である。

市中相場は昭和 4 年の 1 月より 5 年の 12 月迄、全くの棒下げで不況の深刻さが窺はれる。

昭和 6 年に入つて漸く上向きになつたが其後復々軟調に轉じて非觀される様になつた。

3、本文中 第 1 表は鋼材の概念を得る爲めには是非必要であるが、此表を讀むに方つては下記の點を御注意願度い。

1、各寸法は主要なものを拾つたこと、其附近の寸法は主要な寸法に合併して大體其「現はされた寸法以下のものを含む」のである。例へば丸鋼 19 mm と云ふものは 19 mm 以下 16 mm 超のものである。猶各寸法の正確な數字は第 2 表より第 8 表に至る各表の内から拾つてもらひたい。

2、輸出を含んで居ないこと、實際の供給數量を知らうと思へば此數量から輸出を差引かなければならないものであるが、寸法別の輸出數量が分らないのと大勢に影響するほど多量の輸出がないので其儘にした。

3、此表には伸鐵の生産は全部除かれて居ること、伸鐵の生産高の正確なものが未だ出來ないで残念ながら此表に入れることが出來ない。此 3 點を考慮して此表を見て戴きたい。其外第 2 表より第 8 表迄を色々と組合せる時は非常に参考となるものが出來るであらう。

昭和 5 年から 6 年へ掛けて各種販賣組合が出來たが其の販賣價格等に關するものは來年の年報に載せることゝして一覽表だけ出して置いた。

4、誰れしも兎角目先の事象に眩惑され勝ちであるが、こうした鳥瞰的のものを見ることは大勢を誤らしめない上に是非必要なことゝ思ふ、其意味から是非かうした統

計を眺めて戴きたい。

猶之は木曜會で騰寫に代へて印刷に付し實費で需に應ずるそうであるから御希望の方は下記へ申込まれたい。

東京市麴町區丸ノ内八重洲ビル三階 四 社 會

先物協議會—12 月、1 月積

10 月 9 日名古屋公會堂に於て 12、1 月積先物協議會が開催された例に依つて見るもの聞くもの一切合財惡材料の山積、僅かに大陸相場が弗建になつて爲替レートの變化に依る換算の面倒が省略されたが關の山、レートの下つた丈け製品單價は騰貴してゐないから、まだ輸入値段は此處當分底値とも考えられまい。何れ凡ての内地

品 種	區 分	入 電	河 岸 着 價 段 (爲 替 % 1/16)	希 望	決 定	備 考
角 鋼	ベ ー ス	\$ 18.45	¥ 57.57	58	58	1 圓下ゲ
平 鋼	(本所分野)	18.45	57.57	58	58	〃
大 型 山 形 鋼	工 形 鋼	18.35	57.38	57	57	〃
溝 形 鋼	(吋寸法)	18.35	57.38	57	57	〃
〃	(耗寸法)	20.50	61.63	62	62	〃
〃		18.35	57.38	57	57	〃
丸 鋼	ベ ー ス	18.45	57.57			
〃	9mm	19.60	59.86			
中 小 型 山 形 鋼	鋼 板 6mm 以上	18.35	57.38			
〃	4.5mm	20.85	62.35			
〃	3.2mm	21.00	62.66			
〃	2.3mm	22.25	65.15			
〃	1.6mm	25.30	76.24			
線 材	B.W.G.No.5	27.10	67.97			
薄 鋼 板	10—16—3	122.51				
鋳 力 板	170lbs 1—9—3	13.00				
〃	100lbs 0—16—0	7.14				

メーカを泣かして來た世界不景氣は殊の外鐵鋼業界に情ない仕振りを見せ續けて、論ずるのも張り合ない位だ。

先物値段は表の通り決定された。

鋳力板協議會 英國の金輸出禁止の影響は最近 2 ヶ月間の鐵鋼界を極端に迄、懊惱せしめたが愈々今月より大陸相場は出直つて弗建になつて來た。蓋し他人の禪で首を絞められる事は眞平と言つた様な理由からであつたらう。英國以外の大陸製品に支配される一般鋼材に就てはポンド建のものが弗建になれば少くとも爲替レートの變化丈けは免れ得るが英國製品市場を支配する黑板、鋳力板、珪素鋼の如きに至つては全く目も當てられぬ。嘗ては我國の金輸出禁止に依る爲替の下落に惱み、東洋市場より完全に驅逐されて行つた英國製品が又々支那市場に巾をきかず事になるのも近い内であらう。一般的には爲替が下れば内地物價が騰貴する、物價が騰貴すれば賃銀も高くなり従つて生産費も高くなるから大して爲替相場下落は貿易に影響があるまいなどの宣傳もあるけれども事實と過去の經驗は完全に爲替相場下落に依る輸出値段の下落に災されて國際貿易戦は意外に難調を辿つて居るらしい。此の際相當突き進めた意見が旬報に掲

載されなくてはならぬ筈であるが餘りの悲觀材料は最早御免を蒙りたいものである。それはそうとして鉄力板に付いては積遅れもあり英國相場の見當附かずと云ふ事になり今日も又賣出を中止して靜觀する事になつた。騒がしかつた期限遅れ品も完全に11月初旬までに完済され得る事になつた。

小型山形鋼第7回理事會—11月、12月積賣出し
月日場所 10月12日 製鐵所東京出張所
出席者 釜石、製鐵及び三井物産
主なる議題

1)、11、12月積賣出値段、海外は英國經濟界混亂の煽りを受けて弗建となり先月に比し稍軟調なるも内地市場は當所品の積遅れに基因して相當高値に留まり居る状態なるを以て此際の値下げは反つて市場を悪化せしむる結果ともなり且現在の處殆んど外注の恐れなきを以て3mm厚は据置きと決定した、只5mm厚はあまり高値に置く時は丸鋼との均衡を失して惡結果を齎す患ある故1圓下げとし下の通り決定した。

20mm 25 30 35 40(3mm) 40(5mm) 45
69圓(据置) 65圓(据置) 59圓(1圓下げ)

締切日 10月20日

小型山形外注値段

品名	c. i. f.	河岸着(49-3/8)
3mm x 20mm	\$ 20.90	¥ 62.45
3 x 25m	20.25	62.15
3 x 30	19.75	60.15
5 x 40	19.75	60.15
5 x 30	19.50	59.65
5 x 40	19.45	59.56
4 x 45	19.20	59.06
6 x 45	18.95	58.59

中板共販理事會—11月積賣出し

月日場所 10月16日於製鐵所東京出張所
出席者 東海、製鐵及四社
主なる議事

1)、11月積中板賣出しの件

4社提出の外注値段は次の如く弗建にて前月に比し1圓乃至2圓3、40錢安となり其他磅又は法建等の入電あり自然相場も區々であつて採算各異つてゐる。一方東西の間屋方面の意嚮を聴取するに

(イ) 東京側は稍買氣ある模様なるも値段は相當思切つて値下を希望して居り。

(ロ) 大阪側は輸入の成立も相當出來て居り在荷も前月より6-700噸も増加の状態であり又海外の事情も混沌たる際出來るならば1箇月間賣出しを見合せたしとのことなり。

買入の要望大體以上の通りである爲め組合にては今暫く海外の成行を靜觀することとし自然本月の賣出しは一時見合はずことに決定した。尤も一般の引合に付ては其

都度引合に應ずることとした。

2)、目缺の件 4社より曩に決定した、7、8、9月積16mmの目缺苦情1口5噸以上のもの受理の件を11月積より更に繼續方申出あり。

是れに就ては先月目缺苦情一切受附けない條件の下に1圓値下げしたるも其後依然缺量甚だしき模様につき11月積以降は全部實秤重量に引渡すことに確定した。

外注値段

品名	C. I. F.	河岸着(噸)49-3/8
4.5m	\$ 21.00	¥ 62.67
3.2	22.25	65.15
2.3	25.30	76.24
1.6	26.15	77.93

ブラツセル齋藤囑託通信 10月19日 入電、市場稍良好となる。商談は紙幣スターリングに依つて取引されてゐるが相場は金スターリングを以て建てられて居る。

棒鋼 大型山形 中小型山形 工形(B.S.) 鋼板 3/16"

3-1-6 3-1-0 3-1-6 3-1-0 3-12-6

9月25日發信 今週の市況は市場は中々賑かに混雜致候も商談は稀に専ら英國財界の危機による磅相場の下落と是れに伴ふ英國鐵鋼界の今後に推移の話にて持切り候磅相場動搖を機として今後の建相場は白耳義法又は佛蘭西法として磅にて表はす時は下落前の換算率によることとし注文残りの分も同率にて換算仕切の事と相成申候(即ち磅替爲74法50)尙獨逸にては磅に代る米國弗を採用するとの報御座候

今週の相場は依て下の通りと相成申候

	Exports	Inland
Bars	Belg. Fr. 542	Belg. Fr. 575
Angles	535	575
Joist B.S.	540	580
Joist N. S.	535	570

(單位噸)

尙先便申上候白耳義鐵鋼賃銀引下題間は益々惡化し斷然職工側は應ずる様子なくこゝ數日中に或ひは總罷工の舉に出づるやも知れず頗る險惡の雲行に御座候

歐洲國際鋼塊カルテルも愈々本月末を以て改造にとりかゝる手筈の處英貨問題にて又々多少會議開催は遅くるゝ事と存ぜられ候へ共種々懸案もあり且つ相場の底知れざる下落等一刻も此上延ばす事出來ざるやにて遅くも10月初旬には集會を見るならんと申居候

東西市況—不變 10月の最需要期に直面しながら、荷動き一向捗々しからず至つて閑散である。其原因は不況に依る實際の需要の減退もさる事ながら、例の大陸の不安が一掃されない爲め先行懸念から見送り勝ちなのが主要な原因の様に觀察して居る筋もある。

然し問屋筋としては値段も大體大底に達したものと考へると、手持薄によりさまで賣焦る必要もないので値段は前旬と變らざるも只氣持の上では弱含みと見られて居る。

東京市況

丸鋼 6mmの外注入荷による軟調は不變、9mmは新入荷の分は5圓80錢位で手放す筋もあつて先行は聊か安値を懸念されて居るが今の處は此邊が最低と見られ、12mmは共販の値段が明瞭でないといふので疑心暗危を生んで品薄ではあるが一部では脅え氣味なものもある。ベースは表面値段は變らざるも賣行不振に祟られて弱腰と見られて居る。中丸以上變らず。

角、平鋼 角の落ち付きは變らず、9mmも伸鐵から弗々と入荷があるので、10錢方の引き緩みを見せた。平は問題の $\frac{1}{4} \times 1$ や $\frac{1}{4} \times 1\frac{1}{4}$ 、 $\frac{3}{8} \times \frac{3}{4}$ も未だ現物は高値のまゝであるが入荷物に對しては相當安値を呼ばれて居るとの事である。

型鋼 小型山形は $\frac{5}{8} \times 1$ 、 $\frac{5}{8} \times 1\frac{1}{4}$ など相當の入荷があつたに不拘落調緩漫に7圓位の高値を保つて居る。中型等山の下這いたがつて居る氣持は改まらないが値段は未だ保合つたまゝである。大型等山保合、不等邊は $3 \times 3\frac{1}{2}$ 、 75×90 など手持薄を傳へられて等山よりは幾分氣配よく、溝形は $\frac{5}{8} \times 3 \times 6$ が未だに7圓4、50錢に踏み留つて比較的永い壽命を保つて居る外此邊で一段落と見られて居る、工形は不相變の焦付。

鋼板 中板も入荷により追々と平均せられ、16mmは聊か賣り焦りとなり、自信のない問屋では殆んど仕入直段で賣りに出して居る者もあるとの噂あり、23は賣行も勤い代りに約定も少なかつたと見え此邊を往來して居る、32は外注入荷が油に火を注いで愈々軟調に轉じ、45は未だ品薄を傳へて落付きと見られて居る、60も益々品薄が利いて硬化を續け90以上も前旬に引き續き戻りと云はれて居る。猶鋼材中出色なのは番板で、徳山物で3入10圓20錢、4入11圓60錢、7入13圓50錢、8入14圓20錢、9入15圓見當を稱へて盛んに活躍し居る。

大阪市況

丸鋼 目下需要期に入つた關係から建築方面よりの引合弗々あり且つ一般問屋筋では無暗に安値には應ぜぬため相場は概してカツチリしてゐる。而し時折安値掘出したものゝ市場進出には幾分氣を悪くしてをり且つ歐洲の爲替動搖を眺めて先行を警戒する向きもある。ベースものは市中在庫は普通に弗々荷動きあり従つて相場も6圓と小堅い。中丸ものは順次消化され相場も6圓1、

30錢を唱へられ殊に75mm等は市場極度の品掠れにて6圓60錢見當に取引されてゐる。太丸は引續き外注品の入荷あり且最近當所よりの荷廻り順調にて茲許一服の態と云はれてゐる。

秋の夜や雨用意して使用人

角、平鋼 角鋼は概して品薄の模様であるが就中 $\frac{1}{4}$ 以上は荷物偏在の様子で且つ安値には賣らざる爲め相場も比較的戻りしてゐる。平鋼細物は當所積遅れにて市場品掠れを現出してゐる。普通寸法ものは伸鐵方面と問屋筋との交渉がスムーズに行はれつゝある様子にて従つて荷廻りも賣行も順調にて相場は6圓内外を唱へられてゐるが目先解體船材の入荷を氣構へて幾分軟化した。

型鋼 等邊小型山形鋼は一時硬化氣構へであつたが伸鐵及び當所よりの荷廻りに一寸頭打ちの態であるが相場は相變らず7圓50錢搦みを唱へられてゐる。中型等邊山形鋼は在庫はさして多きにはあらねども需要遅々として進まざるため商況不牙。大型ものは賣行不振なるも品薄のため相場は案外堅い。不等邊山形鋼は凡調を辿つてゐる。溝形鋼は總じて鈍状なれども 3×6 品切とあつて7圓30錢其他不變。

鋼板 1、2中板は從來共販の統制に左右せられて荷物も順次消化されてゐるが最近舶來品の入荷ありて下押氣味にあり且つ先行不安視する向が多い。厚板は市中極端なる品掠れにて底意戻りを傳へられてゐる。

線材 目下の呼値は大陸物1噸68圓 當所及神戸製鋼品1噸66圓50錢である。四面楚歌の中に弧城を守つた我線材も大勢には逆行出來ず需要期にもかゝらず賣行不振のため昨今の問屋さんは手持不沙汰の態である。

鋳力板 昨今の鋳力屋さんは商内閉散を啣ち乍ら一方では外注をどンドンやつては又愚痴をこぼすといつた風で全く氣迷商況を繰返してゐるに過ぎぬ。

販賣旬報 第178號 昭和6年10月1日 製鐵所販賣部

12、1月積先物賣行狀態—7,000噸突破

先月の申込4,000噸にして俄然3,000餘噸の増加を示して遂に7,000噸を突破するに至つた。積月は最不需要期海外の不安も未だ收まらざるに此状態を出現したことは今迄の行き掛りから見ると誠に不思議であるが、其主なる原因は大形工場が12月から1月に亘つて休止すると云ふ先物協議會席上に於ける當所の發表に基因して居るものと考へられる。

またそれと同時に實需向の手當物も相當含んで居ると見られて居る。

それ故此申込數量は平常と同様には判断出来ないものであらう。今月から僅か 30 吨ではあるが角鋼の申込が出現した事は 10 月、11 月積を以て最後とする角平の定期契約が切れた爲めの手當の最先鋒と見られて居る。

12、1 月積先物申込數量

揚地	東京	大阪	名古屋	其他	計
品名					
角鋼	—	—	30	—	30
等邊山形鋼	1,338	574	30	—	1,942
不等邊山形鋼	943	700	11	—	1,654
工溝形鋼	429	1,023	15	—	1,472
溝形鋼	1,381	492	110	10	1,993
計	4,091	2,794	196	10	7,091

猶先月の申込即ち 11、12 月積の工場別引受數量を参考の爲め掲ぐれば次の通りである。

11、12 月積先物引受高

工場別	1中	2中	1大	2,3大	4型	計
品種						
等邊山形	—	—	994	415	—	1,409
不等邊山形	164	135	—	—	—	299
工溝形	—	—	—	1,124	20	1,144
溝形	—	256	451	361	—	1,068
計	164	391	1,445	1,900	20	3,920

小型山形共販 11、12 月積締切一激減

11、12 月積小型山形の申込は 20 日に締切つたが其成績は次の通りである。

東京	大阪	名古屋	門司	其他	計
220	131	65	85	9	510

9 月積の 1,223 吨、10 月積の 892 吨に比すると著減の現象となつた。其原因は今回の賣出に對し市場一般は相當の値下りを豫期したのに對し、共販は積遅れ整理其他の意味から 3mm 厚物を据置きとした關係上當然買へなくなつたと見られて居る、それ故 1 圓下げとなつた 5mm 厚物などに對しては比較的多量の申込を見る結果となつた。

線材共販組合協議會—11 月積賣出し

月日場所 10 月 21 日大阪電氣俱樂部

出席者 神戸製鋼、製鐵及 5 社

主なる議事 11 月積賣出の件 別表記載し通り従前は 5—13—0 であつた處、英國の金本位制停止と共に爲替の變動により結局 54 圓 29 錢にて 11 月に入荷するも、之は思惑でもなく全く偶發的に出來た一時的現象であるから共販賣出値段は敢て之に追従する必要なく、現在の入電は 27 弗 10 仙、換算して 66 圓 62 錢なるを以て之を標準として製鐵所品 65 圓 50 錢とせられたしとの 5 社側の希望があつた。

組合側としては口錢を含まぬ値段が 66 圓 62 錢とすれば製鐵所製品を 66 圓 50 錢としても外注値段より已に 1 圓以上利益あるを以て此 66 圓 50 錢に決定すると

とを主張した。

然し現在市中の買手は外注を差控えて共販によらせて居る現状にて、H かつ若し外注をなして居れば此度の如き意外の利得もあると云ふ觀念を市場に植え付ける事も一考を要するを以て何とか考慮せられたしとの歎願あり結局一步を譲つて下の通り決定した。

値段 製鐵所製品 66 圓 神戸製鋼製品 65 圓 50 錢
猶數量は従前通と云ふ希望で 製鐵所 4,000 吨 神戸製鋼 3,500 吨 締切 10 月 24 日

日本線材共販 11 月渡外注値段

WIRE RODS

C. I. F.	\$ 27.10 per 1,000 kgs.
Exch. \$ 49 ³ / ₈	¥ 54.88
Interests 1.2%	.66
Charge.	1.20
Duty 18%	9.88
	¥ 66.62

希望値段	
製鐵所製	65.50
神戸製	65.00

Reference: £ 5-13-0	£ 5-13-0 per kgs 1,015
Exch. 2/6— ¥ 45.20	2/-7/16 ¥ 55.49
Interest .54	.66
Charge 1.20	1.20
Duty 0.14	18% Exch. 2/6 8.14
¥ 55.08	¥ 65.49 " "

54.29 64.52 per 1,000kgs.

製鐵所受渡 2 箇月に互らず 11 月中とせられたし。

11、12 月積線材の締切一申込は賣出に達せず需給のバランスから見れば線材はどうしても若干の輸入を仰がなければならぬ状態にあるのと、共販の統制宜しきを得た爲め、共販が本年 2 月に正式に成立して以來 3 月積と 7 月積に僅少の申込不足を見た外は常に超過の状態を續けて來、特に 9 月積 10 月積の如きは需要期とクォータ獲得の爲め 1 萬 5,000 吨に近い申込を見せた盛況であつたのに、今月に到つて形勢は俄然一變し賣出に對し 2,000 吨以上の不足を告げ 5,350 吨しか申込がなかつた。

昭和 6 年 1 月以降線材賣出申込數量表

區分	賣出數量	申込數量	區分	賣出數量	申込數量
積月 3	7,200	7,175	積月 8	6,000	8,755
4	7,200	10,135	9	6,500	14,145
5	8,000	21,400	10	7,500	14,685
6	8,000	21,450	11	7,500	5,360
7	7,500	7,315			

其原因として數へられるものは

- 1) 滿洲事變以來極度の排日に因り上得意として居た支那方面の釘や線の輸出が全然杜絶した事。
- 2) 6 月以降の大阪方面の多量の輸入が此處へ來て荷

凭れの状況となり東京方面へ轉送する程となつた事。

3) 海外不安に伴ふ買氣の鎖滅などが擧げられる。

下記申込は全部引受けとなつた。

出席者 川崎、中山、徳山、日鋼、製鐵及 4 社

主なる議事 11 月物賣出に關する件 4 社希望の概要

(イ) 大阪 1) 輸出不振、内地賣行不良に加へ外注入荷

昭和 6 年 11、12 月積線材申込數量調

内 譯	神戸製鋼				製 鐵 所				計					
	東 京	大 阪	名 古 屋	計	東 京	大 阪	名 古 屋	八 幡	計	東 京	大 阪	名 古 屋	八 幡	計
三井	—	200	—	200	700	—	65	—	765	700	200	65	—	965
三岩	—	50	—	50	350	—	65	30	445	350	50	65	30	495
安日	—	645	—	645	600	519	—	70	1,180	600	1,155	—	70	1,825
井菱井宅商	—	605	—	605	120	250	—	—	370	120	855	—	—	975
計	100	850	—	950	150	—	—	—	150	250	850	—	—	1,100
	100	2,350	—	2,450	1,920	760	130	100	2,910	2,020	3,110	130	100	5,360

厚板共販理事會—11 月積賣出し

月日場所 10 月 22 日、大阪電氣俱樂部

出席者 川崎、淺野、東海、製鐵及 4 社

主なる議事 11 月積賣出の件 英國の金本位制停止以來初めての理事會として賣出値段を如何に決定するかに就て、市場値段を斟酌して据置を固執するか、又は外注値下りに追従して 2、3 圓方引下げを斷行するか等相當異論あり。遂に 4 社を招じて買手側の意向を聴取することとなつたが、4 社側としても今日の此混沌たる市場に對して單に値段のみの點を云へば結局外注に追従する外あるまいと云ふ程度の意見しかなく、4 社としてはそれよりも根本問題としてシャーの救濟、具體的に云へば切板と耳付との値幅を擴げると云ふことを必要とするとの事であつたが、組合は斯る根本問題を解決するには相當の考究を要する故今日此席で速急に解決し得ざるを以てそれは將來の問題として殘し不取敢賣出しに就ては 4 社の意見も考慮に入れ下の通り決定した。

耳付 57 圓(一般賣 59 圓) 定尺 64 圓 切板 66 圓
ボイラープレート 130 圓(但し 1 噸以上)

締切 10 月 27 日

厚板共販理事會—11 月積締切

月日場所 10 月 29 日製鐵所東京出張所

出席者 川崎、東海、製鐵所

主なる議事 11 月積厚板締切の件 27 日締切つた厚板の耳付申込は次の通り。

東 京	大 阪	名 古 屋	計
861	973	—	1,834

豫て期したることではあるが 11 月積の耳付申込は前月同様誠に僅少な數量である。

英國の金本位制停止と云ふ大きな投石による 大波紋は中々収まる模様もなく前途の不安が去らないのが 此結果となつたであらう。

黒板共販理事會—11 月物賣出し

月日場所 10 月 26 日大阪中央電氣俱樂部

品も相當あるを以て本月賣出しは數量は薄物 7,000 噸位に願度し

値段は次の通り願度

薄物 13 枚もの	120 圓	厚物 8 枚もの	112 圓
浪 原	117 圓 50 錢	7 "	110 "
厚物 12 枚もの	117 "	6 "	103 "
11 枚 "	116 "	5 "	99 "
10 枚 "	115 "	4 "	96 "
9 枚 "	114 "	3 "	90 "

2) 浪原賣出數量少なき爲外注誘發する傾向あり浪原は申込數量全部御請願度平浪の割合は大體次の如し

平 板 6 割 浪 原 4 割

3) 10 月物積遅れある時は契約取消願度し

4) 支那問題發生以來輸出特に不振につき 8 月積輸出期限は 10 月末日迄となり居るも當分延長せられたし。

(ロ) 東京 11 月上旬迄發表延期願度し。

理由、10 月渡の品物が 10 月 25 日以後に特込まれるもの 3,000 噸以上あり然も各社共月末に一括して入荷する故此混亂期に於ては其結末を見ざる内は如何とも決し兼ねるを以て延期せられたし。

若し是非發表を必要とする場合には寧ろ買へざる値段として相當高値に發表せられたし。

以上に對し組合側にて協議の結果外注防遏の趣旨に應い東西の希望を參酌して豫定の通り賣出すことに決定し賣出數量は發表せざることとせり。

賣出條件 (イ) 輸出品は 11 月物賣出を見合す。(ロ) 内地向値段(川崎標準)

13 枚物	124 圓(浪原 250 錢開き)	7 枚物	112 圓
12 枚物	120 "	6 枚物	110 "
11 枚物	118 "	5 枚物	100 "
10 枚物	116 "	4 枚物	97 "
9 枚物	115 "	3 枚物	94 "
8 枚物	114 "		格差從來通り

(ハ) 買手に對する割當は從來の實績を捨て今月より申込を實績として適用す。

(ニ) 内地向に對する輸入に就ては既定の方針に従ひ將來罰則を適用するやも知れず。

尙大阪の 4 社の希望に對しては次の通り回答した。

第 2 項に就ては其都度考慮すべし。

第 3 項は各社の個別的の問題とす。

第 4 項に當分と云ふ希望を 11 月末迄に延した。

ブラツセル齋藤囑託通信 10 月 23 日入電 市場變化なく相場も不變

10 月 2 日發信、英貨崩落以來市場は混沌として暑休明けの需要期節に入れるに係らず市場は只ワイワイと人出多きも目鼻つかず染みたる商談どころに非ずと云ふ有様當面の問題として約定品の仕切は今後約定當時の金磅により換算せらるべきや將又約定品引渡當時の成行爲替相場により仕切らるゝやの點は未決定にして中々議論あり不取敢 9 月 23 日當ブラツセル市に於て國際鋼塊カルテル委員會合、協議を重ねたるも何等結論に達せざりし模様候

今週の建値は或メーカーはベルガ建、或者は佛法建、或者は金磅建と云ふ様にて一定せざりしも相場そのものは名目のみなれども恐慌發生前を維持せしめし如く即ち其の重なるものを舉げれば下の如くに御座候

		Export.	Inland.
Bars	frs	542.50	frs 570
Angles		533.75	570
Joists	N. S.	525.00	570
"	B. S.	542.50	580

尙白耳義鐵鋼業者の最も恐れを懐けるは今回の英國金輸出禁止を機として自動的の英國々内産業の勃興にして現に早くも英國よりの情報によれば鐵鋼石炭業界は俄かに活氣を帯び來り從來大陸製品のダムピングに悩まされ居たる事業界は今後大いに活躍を期待し得るならんと云ひ今後英國製品が海外競争市場に出廻る時は大陸諸國は其程度如何によらず打撃を蒙むる事と存候又白耳義の貿易關係より見て英國は白耳義製品の最大得意國として總輸出額の 18%乃至 20%は英國に仕向けられ居り鐵鋼年輸出額 300 萬噸中 60 萬噸は英國への輸出に御座候、されば今後の推移は白耳義製鋼業者にとりて中々の問題に候

10 月 9 日發信 市場は不相變氣迷ひの態に候へ共今週は幾分落付きたると當用口に對して前値にて幾分か商談ありし様に候、建値は白耳義法、佛法等マチマチなれども何分國際的に磅建値に慣れ居ることゝて結局金磅にて契約せられたるものと存候又相場も一般に金磅にて建つるを便とする論普通に候

Bars (base)	£	3-1-0	3-2-0
Angles (base)		3-1-0	3-2-0

(アントワープ F、O、B)

東西市況—無活氣 市中到る處荷動きの不振を啣つことは前旬と變らず全く活氣を缺いて居る 只地方筋は農

村の疲弊により如何に需要が減退したとは云へ特に東北方面は雪を眼前に控へてる今日此頃少しは手當をする模様であるが市中の取引は正に閉寂そのものである。

問屋筋も一般に品薄ながら内外環境の不味から總見送の状態を續けて居るものと見られて居る。

東京市況

丸鋼 6mmは伸鐵が 9mmや 12mmの安値から此方に向いて來たのも手傳つて益々弱含みとなり、9mmは値下げと入荷が利いて頭重く、12mmは品薄は變らざるも動かぬ爲め弱含み、ベースは表面 5 圓 70 錢を唱へては居るが纏つたものは別として普通は 5 圓 60 錢位には出來る模様で賣腰も弱いと見られて居る、中丸以上は中間寸法物が手持薄の爲め小廻りで 55mm, 60mm 6 圓 20 錢、70mm, 75mm 6 圓 50 錢、80mm 7 圓 30 錢を呼んで居る。

角、平鋼 角は可もなく不可もなく不相變の落ち付きで、平は 1/4" 厚 3/8" 厚の當所積遅れ物は 6 圓 5、80 錢と相當高値に取引されて居るとの事で其他不變。

型钢 小型山形は今の處は物により未だ 7 圓臺を保つて居るが入荷氣構に先行は至つて軟弱を傳へられ、中型山形は入荷捗々しからず品薄な事は確實であるが、荷物の動かないのには勝てず一向に冴えず、大型山形は下げ溢りと云ふ程度と見られて居る。不等邊も一向變らず、只溝形のみは入れ代り立ち代り品薄や品切れが出て比較的好調を傳へられて居る、工形はエキストラ物が品切れて大體 6 圓 6、80 錢を唱えて息をついて居る外ザリ貧で惠まれず。

鋼板 中板は 1'6×5×10, 2'3×4×8.5×10 が稍品薄で戻りの外は大凡落ち付いた處へ落ち付いた模様と云はれて居る。之に反し 6'0 以上は極度の手持薄から益々奔騰氣味で特に 6'0 厚は盛んに昂騰氣勢となり 7 圓 30 錢と云ふて居る者さへある、それと 13 枚物の積遅れを恐れてメーカーがそれに主力を注ぐ結果番板の荷渡し不圓滑となつたのと、今迄の手當薄と需要期の三拍子が揃つて高値を續けて居ると云はれて居る。

大阪市況

丸鋼 昨今の鐵材の賣行不振はつまり生産過剰に基因するものだと云はれてゐるが結局は金の偏在による世界的不況から來た需要減退による結果との見方が正しいらしい。従つて過般米佛兩國巨頭の會合が果して刻々悪化する國際經濟界へ起死回生の妙藥を投じ得るや否やによつてのみ我鋼材界の浮沈も決せらるゝであらうと云はれてゐるが先般のフーヴァ景氣の結果からみて鋼材市場人は相變らず冷靜を保つてゐる様子である。従つて目先

としても昨今の市況と大差なく推移するであらうと見る筋が多く先づ可もなく不可もなしか。ベースものは相變らず品薄といはれ殊に最近メーカーは鐵筋用材の製造に重きをおいてゐる傾向がある爲め市中には定尺物は皆無といはれ従つて相場も小堅い。中丸 3' は 6 圓 70 錢見當にて殊に 55mm 等は 6 圓 90 錢翫みを唱へられてゐる。其他不變。

詩の下手の醫の尙下手の菊作

角、平鋼 角鋼 12mm 以上 38mm は當所積遅にてストック減少し先旬來約 10 錢方の反撥を見せてゐる。平鋼は特筆すべき材料なけれ共氣候順調につれて伸鐵方面の生産能率擧り且つデリバリもスムーズに行はれてゐる關係からこの方面の寸法は幾分下押氣味がほの見え

型鋼 等邊小型アングル 3×25 及び 3×32 等は伸鐵品及び外注品に押されて 3、50 錢方下落。等邊中山形は荷動き鈍く漸落歩調にあり。大型ものは過般當所値下げ發表と同時に市場も同程度の値下げを見たが賣行、在庫其他は前報と變らず。溝型鋼 3×6 は一時 7 圓 80 錢見當を唱へられしが當所品出廻りに一擧 50 錢方の下落振りを示してゐる。工型鋼は相變らず凡調。

鋼板 市中在庫豊富にて軟弱相場を呈してゐた 1、2 中板も最近共販の賣出中止及び舶來品入荷一巡等を眺めて幾分見直氣味にあり。共販厚板は目下外注安を考慮し 1 圓値下げしたが引續き市場品薄のたこれ等の軟材料に對して感受性が鈍く相場は存外手堅い。

線材 支那方面への輸出杜絶其他惡材料の山積にて製品界の賣行捗々しからず目先も何等好刺戟材料は見當らぬと云はれてゐる。

鐵力板 不景氣による一般實需筋の疲弊は豫想以上に甚だしいものがあるから環境でも見直せば兎も角鐵力板(正品級)自體としては未だ買の妙味はないと見る筋が多い。

訂正及追加通知 本報 7 月 1 日發行第 166 號所載「昭和 6 年 5 月中當所品種寸法別生産高」中左の通り一部訂正(或は追加)す。

註、下記は訂正の數字のみを記す、依て其他は既報の通り。

寸法	噸數		寸法	噸數	
	誤	正		誤	正
鋼板(0.7mm)以下			鐵力板		
6 sheets	170	104	170lbs	282	327
7	317	292	100	314	263
8	213	138	95	228	299
10	583	413	B.W.G.		
13	1,978	810	No. 30	880	686
B.W.G.			" 29	512	330
No. 30	—	625	計	2,216	1,905
0.35mm	218	—	硅素鋼板(追加)		
0.43	113	—	0.35mm	—	26
計	3,593	2,383	0.43	—	66
鋼板(0.7mm超)			計	—	92
5 sheets	94	98	鋼板計	20,460	19,035
計	5,594	5,598	鋼材合計	58,403	56,978

インド銑に不當廉賣適用

銑鐵共同組合はかねて積極的のインド銑驅逐の方針を取つてゐるが、インド銑の輸入は一向に衰へず、殊に最近にはルービー爲替の低落を利用し、噸當り 22、3 圓見當にて内地への引合を行つてゐるため、本年度の輸入は豫想より 5 萬噸増の 15 萬噸となる見込みである、一方

内地銑鐵はいよいよその壓迫を受けて會社 46 萬 5000 噸市場 8、9 萬噸合計 55、6 萬噸とほとんど 1 ケ年の生産高以上に達するストックを抱へるに至つたので。

11 日理事會を開催、インド銑に對する不當廉賣取締規則の發動を各製鐵業者連名にて商工省に陳情することになつた、インド銑が不當廉賣を認め得る理由は 1931 年のインド通關公定價格は噸 73 ルービーにて日本向輸出値段は爲替崩落當時 22 ルービー爲替回復の現在も 25、6 ルービーにて明かに輸出直段のダンピングであることを示してゐる。(東朝 12/11)

米國銅限産を擴張か

ニューヨークに開催中の世界銅限産會議は現在の世界銅産額月 12 萬 50 噸を 5 萬 5000 噸に限産する案を協議しアフリカのカタンガ銅山がその割當率について異議を唱へてゐるため會議は一時停頓してゐるが米國銅協會は其會議開催と共に本會議に不参加の我國産銅業者の團體である水曜會に對し世界銅限産協定の協調的態度をとることを勸説して來たと、水曜會はこれに對し目下對策を協議中であるが世界會議が限産擴張と決すれば勢ひ現在内地限産率 8 分 8 厘を擴張するものと豫想されてゐる。(東朝 12/11)

線材、薄板、鐵力板輸入速報

品名	10月上旬				10月中旬				10月下旬			
	神戸 自9月30日 至10月7日	大阪 " " " "	横濱 自9月28日 至10月6日	合計	神戸 自10月8日 至10月18日	大阪 " " " "	横濱 自10月7日 至10月15日	合計	神戸 自10月19日 至10月28日	大阪 " " " "	横濱 自10月16日 至10月27日	合計
B.W.G.No.5	264	405	1,057	1,726	244	1	5	250	257	—	251	508
線材 其他	352	102	71	525	746	100	100	946	670	203	71	944
計	616	507	1,128	2,251	990	101	105	1,196	927	203	322	1,452
中下計	—	—	—	—	1,606	608	1,233	3,447	2,533	811	1,555	4,899
薄板 0.7mm以下	174	647	22	843	82	443	—	525	197	437	590	1,224
計	—	—	—	—	256	1,090	22	1,368	453	1,527	612	2,592
鐵力板	423	50	375	848	743	101	647	1,491	767	149	1,432	2,348
中下計	—	—	—	—	1,166	151	1,022	2,339	1,933	300	2,454	4,687

東京大阪市中相場

(單位圓)

寸法	上旬		中旬		下旬	
	東京 10月 6日	大阪 10月 5日	東京 10月 17日	大阪 10月 15日	東京 10月 27日	大阪 10月 25日
丸鋼						
6mm	7.10	7.30	7.10	7.10	7.10	7.30
9	5.90	6.00	5.90	6.10	5.85	6.10
12	5.85	5.95	5.85	6.00	"	6.00
19	5.70	"	5.70	5.95	5.70	5.95
25	"	5.90	"	"	"	"
50	5.80	6.50	5.80	6.30	5.85	6.30
65	5.95	6.00	5.95	6.20	5.95	"
角鋼						
9mm	6.50	6.10	6.40	6.30	6.40	6.30
12	5.80	5.90	5.80	6.00	5.80	6.10
15	5.75	"	5.75	5.80	5.70	6.00
19	"	5.95	"	6.00	"	"
38	"	5.90	"	"	"	"
平鋼						
1/4" x 1 1/2"	5.75	6.00	5.70	6.00	5.70	6.00
1/4" x 2	"	"	"	"	"	"
1/4" x 3	"	6.20	"	6.10	"	6.10
3/8" x 4	5.80	5.95	5.80	"	5.80	"
1/2" x 4	"	"	"	6.20	"	"
等邊山形鋼						
mm mm mm	5.70	6.10	5.70	6.10	5.70	6.10
6 x 50 x 50	"	6.30	"	"	"	6.20
6 x 65 x 65	"	6.15	"	"	"	"
9 x 75 x 75	6.20	6.40	6.20	6.40	6.15	6.40
9 x 130 x 130	6.30	6.50	6.30	"	6.30	"
12 x 130 x 130	"	"	"	"	"	"
15 x 150 x 150	"	"	"	"	"	"
不等邊山形鋼						
3/8" x 2" x 3"	6.20	6.50	6.20	6.60	6.15	6.30
3/8" x 3 x 4	5.70	6.40	5.70	6.30	5.70	"
3/8" x 3 1/2 x 5	"	6.20	"	6.00	"	6.40
3/8" x 4 x 6	6.20	6.60	6.20	6.40	6.15	"
1/2" x 4 x 6	"	"	"	6.35	6.20	"

寸法	上旬		中旬		下旬		
	東京 10月 6日	大阪 10月 5日	東京 10月 17日	大阪 10月 15日	東京 10月 27日	大阪 10月 25日	
溝形鋼							
1/4" x 2" x 4"	6.80	6.90	6.80	6.80	6.60	7.00	
0.312 x 2 1/2 x 5	6.65	7.20	6.65	6.85	6.65	7.20	
3/8" x 3 x 6	6.70	7.50	6.80	7.00	6.70	7.30	
3/8" x 3 x 8	6.20	6.60	6.20	6.60	6.10	6.60	
3/8" x 3 1/2 x 10	6.80	7.50	6.80	7.20	6.80	7.00	
3/8" x 3 1/2 x 12	6.60	7.30	6.60	"	6.60	"	
工形鋼							
1/4" x 3" x 6"	6.20	6.60	6.20	6.40	6.15	6.40	
3/8" x 6 x 12	6.30	6.50	6.30	"	6.20	"	
0.28 x 4 x 8	6.20	6.30	6.20	"	6.15	6.50	
0.35 x 5 x 12	6.40	7.30	6.40	6.90	6.30	7.20	
0.36 x 5 x 10	6.30	6.50	6.30	7.50	6.20	7.50	
鋼板							
1.6mm x 3' x 6'	8.50	8.60	8.40	8.60	8.30	8.50	
1.6 x 4 x 8	8.60	8.50	8.50	"	"	"	
3.2 x 4 x 8	7.25	7.30	7.20	7.30	7.20	7.20	
3.2 x 5 x 10	"	"	"	"	"	"	
6.0 x 4 x 8	6.70	6.70	6.80	6.80	7.10	6.90	
6.0 x 5 x 10	"	6.80	"	"	"	"	
9.0 x 4 x 8	6.40	"	6.50	"	6.60	7.00	
9.0 x 5 x 10	"	"	"	6.90	"	"	
薄鋼板(13枚)							
米	51	51	50	48	47.5	47	
英	50	48	49	47	46.5	45	
八	51	49	50	47	47.5	46.5	
鐵力板							
米	{170lbs	16.00	16.00	16.00	16.00	15.90	15.80
	{100	9.00	9.00	9.00	8.80	8.90	8.70
英	{170	15.00	15.00	15.00	15.00	14.90	13.70
	{100	8.70	8.70	8.60	7.80	8.50	8.00
八	{170	15.00	15.50	15.00	15.30	14.90	15.00
	{100	8.70	8.65	8.60	8.50	8.50	8.30
線材							
No. 5	73.00	68.00	71.00	66.50	69.00	66.00	

備考 單位 100kg につき(置場値段)、但し薄板は1枚當り。線材は吨當り。鐵力板は1箱當り。

昭和6年9月中棒鋼寸法別揚地別引渡高表

(單位噸)

丸鋼										角鋼												
民間向普通鋼					規格品及特殊鋼					民間向普通鋼					規格品及特殊鋼							
區分	阪揚	神揚	京濱	其他	計	阪揚	神揚	京濱	其他	計	合計	區分	阪揚	神揚	京濱	其他	計	合計				
寸法	9mm	957	375	365	1,697	—	—	—	—	—	1,697	寸法	12mm	34	181	55	270	—	—	—	—	270
	12	45	—	1	46	—	—	—	—	—	46		16	83	72	74	229	—	—	—	—	229
	13	—	—	—	—	—	—	—	4	4	4		19	25	25	5	55	—	—	—	—	55
	15	—	—	—	—	1	—	—	2	3	3		22	10	10	3	23	—	—	—	—	23
	16	—	—	—	—	2	—	—	—	2	2		25	19	15	2	36	—	—	—	—	36
	18	—	—	—	—	—	—	—	4	4	4		28	5	20	—	25	—	—	—	—	25
	19	—	—	6	6	—	—	—	—	—	6		32	23	—	—	23	—	—	2	2	25
	21	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2		38	50	29	3	82	—	—	4	4	86
	22	—	—	1	1	—	—	—	—	—	1		44	20	20	2	42	—	—	—	—	42
	25	—	—	3	3	—	—	—	—	—	3		50	—	—	4	4	—	—	—	—	4
	28	—	—	2	2	—	—	—	1	1	3		65	25	15	2	42	—	—	—	—	42
	30	—	—	1	1	—	—	—	4	4	5		75	30	15	2	47	—	—	—	—	47
	32	—	—	3	3	—	4	9	13	16	16		90	—	5	3	8	—	—	—	—	8
	36	—	—	—	—	—	—	2	2	2	2		100	5	5	—	10	—	—	—	—	10
	38	—	—	23	23	—	—	22	22	45	45		120	—	—	—	—	—	—	7	7	7
	44	—	—	12	12	—	—	9	9	21	21		150	—	—	20	20	—	2	—	2	22
	48	—	—	10	10	—	—	—	—	10	10		175	—	—	—	—	—	—	10	10	10
	50	150	17	16	183	5	—	1	6	189	189		200	—	—	—	—	—	20	20	20	
	55	55	—	14	69	—	—	—	—	69	69		250	—	—	—	—	—	4	30	34	34
	56	—	—	—	—	5	—	—	5	5	5		角鋼計	329	412	175	916	—	6	73	79	995
	60	5	—	11	16	—	—	1	1	17	17		16mm	—	5	—	5	1	1	—	2	7
	65	10	—	9	19	—	—	9	9	28	28		19	197	128	11	336	—	—	—	—	336
	70	—	5	2	7	—	—	10	10	17	17		22	—	—	—	—	2	—	—	2	2
	75	29	—	3	32	—	—	20	20	52	52		25	10	6	3	19	—	—	2	2	21
	80	5	—	11	16	—	—	—	—	16	16		28	—	—	—	—	2	—	—	—	2
	83	—	—	—	—	—	—	14	14	14	14		32	99	10	5	114	2	—	—	—	116
	85	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1		38	50	—	—	50	—	3	—	—	53
	90	—	—	23	23	—	—	—	—	23	23		44	5	—	—	5	—	—	—	—	5
	95	5	—	8	13	—	—	19	19	32	32		50	35	—	3	38	—	3	—	—	41
	100	—	—	17	17	—	—	25	25	42	42		55	4	—	1	5	4	—	—	—	9
	110	—	2	—	2	—	—	1	1	3	3		65	—	5	4	9	4	—	—	—	4
	115	—	2	—	2	—	—	—	—	2	2		70	—	—	—	—	3	—	—	—	13
	125	—	1	91	92	—	—	—	—	92	92		75	120	260	2	382	2	—	—	—	3
	130	—	—	—	—	—	—	12	12	12	12		80	—	—	—	—	3	—	—	—	3
	135	—	—	23	23	—	—	32	32	55	55		90	182	95	17	294	—	2	14	16	310
	140	—	12	10	22	—	2	30	32	54	54		95	—	—	—	—	3	—	—	—	3
	145	—	6	—	6	—	—	—	—	6	6		100	18	35	8	61	—	3	4	7	68
	150	2	4	10	16	—	2	23	25	41	41		115	—	2	—	2	—	—	—	—	2
	160	—	6	—	6	—	—	—	—	6	6		117	—	2	—	2	—	—	—	—	2
	170	—	17	10	27	—	—	—	—	27	27		125	—	15	—	15	—	—	—	—	15
	180	—	16	10	26	—	—	—	—	26	26		平鋼計	720	563	54	1,337	26	12	20	58	1,395
	190	—	19	—	19	—	—	—	—	19	19		棒鋼總計	2,312	1,457	924	4,693	39	26	350	415	6,108
丸鋼計	1,263	482	695	2,440	13	8	257	278	2,718													

昭和6年9月當所製品揚地別發送高

(單位噸)

揚地別	品名	鋼材			鋼片及鋼塊	副製品	合計	揚地別	品名	鋼材			鋼片及鋼塊	副製品	合計
		官廳	民間	計						官廳	民間	計			
內地	所	157	6,772	6,929	4,450	21,744	33,123	內地	所	1,502	—	1,502	—	—	1,502
京濱	地方	2,502	16,761	19,263	227	68	19,558	朝鮮	地方	—	—	—	—	—	—
阪神	地方	3,962	15,620	19,582	2,682	32	22,296	臺灣	地方	12	336	348	—	—	348
伊勢	地方	104	1,457	1,561	—	33	1,594	其他	—	—	—	—	—	—	
東海	地方	—	—	—	—	—	—	計	9,832	43,305	53,137	14,741	25,972	93,850	
山陰	地方	67	327	394	—	—	394	輸出	地方	—	—	—	—	—	—
北陸	地方	—	—	—	—	—	—	滿支	地方	—	381	381	—	—	381
內海	地方	483	—	483	6,169	10	6,662	關東	地方	—	211	211	—	—	211
四國	地方	—	—	—	—	—	—	支那	地方	—	3	3	—	—	3
北陸	地方	9	161	170	—	—	170	其他	—	—	—	—	—	—	
關東	地方	—	—	—	—	—	—	計	—	—	595	595	—	595	
關西	地方	1,035	1,808	2,843	1,213	4,085	8,141	合計	9,832	43,900	53,732	14,741	25,972	94,445	
九州	地方	—	—	—	—	—	—								
北海道	地方	—	62	62	—	—	62								
樺太	地方	—	—	—	—	—	—								

昭和6年8月中國別輸入數量表

(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	塊	和	典	合	關	印	其他	計	本年度 累 計
條及 竿鐵 <small>(丸、角、平の形にして 徑又は幅15mmを 超えざるもの)</small>	50	130	706	295	21	165	15	4	—	—	40	1,426	4,696
〃 <small>(丸、角、平の の其他及 其他形 形)</small>	104	3	1,039	269	95	341	8	55	—	—	1	1,915	7,889
〃 <small>(ア ンゲル 形)</small>	2	—	58	5	—	—	—	—	—	—	—	65	1,128
〃 <small>(其 他)</small>	30	2	202	—	—	—	—	2	—	—	1	237	10,340
レ — ル	—	—	90	—	—	—	—	121	—	—	—	211	3,174
フイ ッシ ユ、 プレ ート	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	181
ワイ ア ド ロ ッ ド <small>(巻きたるもの にして徑5mmを 超えざるもの)</small>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃 <small>(巻 きたる もの 其他 の)</small>	—	750	2,066	—	42	5	155	1,822	—	—	—	4,835	45,685
鐵 板 <small>(金屬を鍍せざるもの に厚0.7mmを超え ざる鋼板)</small>	—	—	80	—	—	—	—	141	—	—	—	221	1,408
〃 <small>(金屬を鍍せざるもの に厚0.7mmを超え ざる其他の)</small>	2,088	—	308	1	—	—	—	1	—	—	3	2,401	8,899
〃 <small>(金屬を鍍せざるもの に厚3mmを超え ざるもの)</small>	52	2	360	120	33	—	10	66	—	—	—	643	3,034
〃 <small>(金屬を鍍せざ るもの其他 の)</small>	2	—	522	—	—	—	—	2	—	—	40	566	2,565
〃 <small>(錫鍍したるもの (葉鐵及葉鋼)</small>	1,821	—	942	32	—	—	—	1,723	—	—	—	4,518	28,320
〃 <small>(亞鉛鍍したるもの (其他卑金屬を 鍍したるもの)</small>	—	—	31	—	—	—	—	103	—	—	12	146	850
〃 <small>(其他卑金屬を 鍍したるもの)</small>	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2	145
鐵 線	35	1	634	—	2	—	7	60	—	—	—	739	4,239
リ ー ド ・ ワイ ヤー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	6
鐵 リ ホ ン	71	55	160	62	32	—	27	8	—	—	75	491	3,315
帶 <small>(箍 鐵)</small>	112	607	333	2,490	—	—	—	—	10	—	520	4,072	22,428
パ ラ ゴ ン ・ ワイ ヤー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	132
線 索	30	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	33	260
撚 合 線	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21
バ ー ブ ド ・ ツイ ス ト ・ ワイ ヤー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵 筒 及 管	45	—	78	—	—	19	12	381	—	—	—	535	6,491
特 殊 鋼 <small>(稅表一)</small>	19	2	15	—	54	—	6	2	1	—	3	102	966
〃 <small>(稅表二)</small>	1	—	4	—	17	—	—	—	—	—	8	29	1,162
鐵 道 車 輪 用 軸	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	100
鐵 道 車 輪 用 ダイ ヤー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	161
鐵 道 車 輪 用 グ レ ー ド	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	4,462	1,552	7,631	3,274	296	525	240	4,495	11	—	704	23,190	157,595
フ ェ ロ ・ マン ガ ニ ー ス	213	—	—	53	—	—	—	—	—	—	—	266	912
フ ェ ロ シ ル コ ン 及 シ リ コ ン ・ ス ピ ー ゲ ル ア イ ゼ ン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51
其 他 の 不 可 鍛 成 鐵 合 金	—	1	6	—	—	—	13	—	—	—	—	20	152
シ ー ト バ ー <small>(テ ィ ン パ ー を 含 む)</small>	—	—	739	52	—	—	—	—	—	—	—	791	12,413
イ ン ゴ ツ ト ・ プ ル ー ム ・ ビ レ ッ ト 及 ス ラ ッ プ	—	184	31	—	—	—	—	—	—	17	—	232	1,265
ケ ツ グ ス チ ー ル 及 バ ン プ ス チ ー ル	—	—	—	—	—	—	18	—	—	—	—	18	120
其 他 の 塊 及 錠 鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11
合 計	213	185	776	105	—	—	31	—	—	17	—	1,327	14,924
銑 屑 及 故 鐵	386 4,791	—	—	—	—	—	—	—	8,560 2,043	18,917 12,083	6,780 3,456	34,643 26,009	241,826 164,234

昭和6年9月中 神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
部鋼の部		角鋼		型鋼の部		鋼板の部		縞鋼板		鋼管の部	
丸	鋼	3/16"	30	等邊山形鋼		鋼板(0.7mm超)		3/16"	25	2	85
		1/4	17	20mm	20	1/16"	199	1/4	25	1	214
5/32"	22	3/8	5	25	20	3/32	46	5/16	10	0	65
3/16	146	1/2	5	30	20	1/8	660	3/8	10	00	25
1/4	25	5/8	1	40	20	3/16	5	計	70	A.S.W.No.	5
5/16	24	3/4	3	160	16	1/4	9	鈹力板		0	31
7/16	48	7/8	5	計	96	5/16	2	lbs		其他	19
1/2	38	1	5	造船材料		3/8	2	100	228	線材計	4,426
9/16	1	1 1/8	1	90mm	63	1 1/2mm	2	170	610	鋼管の部	
5/8	29	1 1/4	6	100	5	1 6	10	40	2	鋼	管
3/4	29	1 1/2	8	130	8	1 8	53	50	10	1/8"	1
13/16	1	1 3/4	6	計	76	2	10	60	30	1/4"	11
1	20	2	4	等邊山形計	173	B.W.G.No.		70	26	3/8"	5
1 1/8	14	2 1/2	5	不等邊山形鋼		6	1	80	26	1/2"	20
1 3/16	1	3	7	mm mm		7	1	100	55	3/4"	176
1 1/4	31	3 1/2	5	140x90	26	9	1	Mixed	270	1	230
1 3/8	8	計	123	計	26	10	1	Oil size	1,668	1 1/4	40
1 1/2	13	平鋼		造船材料		11	5	其他	2,159	1 1/2	43
1 5/8	1	0 31"	1	mm mm		12	5	計	5,084	1 3/4	5
1 3/4	16	0 34	1	130x90	2	12 1/2	1	鋼板計	8,102	2	66
2	20	3/8	7	150x75	1	13	19	軌條及附屬品の部		2 1/2	22
2 1/4	14	1/2	14	180x75	4	13 1/2	1	軌	條	3	37
2 1/2	13	5/8	27	180x90	4	14	22	lbs		3 1/4	14
2 3/4	12	3/4	128	計	11	14 1/2	1	93	129	4	91
3	16	7/8	89	不等邊山形計	37	15	15	108	214	5	9
3 1/4	5	1	127	工形鋼		16	40	122	119	6	15
3 1/2	12	1 1/4	92	3'x3'	15	16 1/2	1	計	460	7	14
3 3/4	5	1 1/2	41	8x5	57	17	5	繼目板		8	83
4	8	1 3/4	48	10x5	67	18	5	lbs用		9	23
4 1/4	10	2	83	18x6	54	19	5	122	3	10	33
4 1/2	18	2 1/4	14	40x7	10	20	1	重量不用	18	12	5
4 3/4	15	2 1/2	63	計	213	其他	11	計	21	14	10
5	21	2 3/8	10	丁形鋼		計	1,161	鋼板(0.7mm以下)		16	1
5 1/2	14	3	44	1" x 1"	5	0 5mm	35	22	2	40mm	2
6	16	3 1/8	5	1 1/2" x 1 1/2"	15	B.W.G.No.		17	5	73	1
6 1/2	9	3 1/2	15	2x2	30	24	59	18	5	其他	55
7	6	3 5/8	36	2 1/2 x 2 1/2	28	26	61	19	5	Pipe fitting	46
8	4	4	20	3x3	15	27	277	計	481	鋼管計	1,094
6mm	244	5 1/2	4	4x3	10	28	79	線材の部		其他鋼材の部	
8	30	6	25	4x4	10	30	251	線	材	特殊鋼	
11	21	31mm	2	計	113	30 1/2	424	5mm	357	丸鋼	221
13	10	4	16	シートパイピング		其他	245	5 58	99	角鋼	26
25	7	半圓鋼		計	266	計	1,531	6 1/2	5	平鋼	68
計	1,040	計	980	計	113	電氣鐵板		8	5	鋼板其他	13
造船材料		計	81	計	801	0 014"	123	9 1/2	5	計	437
1 5/16	41	棒鋼計	2,304	型鋼計	801	0 02"	1	11	5	外輪	33
2 1/2	10	計	81	條鋼計	3,105	0 024"	1	12	5	其他鋼材計	470
2 3/8	29	丸鋼計	1,120			0 033"	4	B.W.G.No.		鋼材合計	17,678
計	80					0 5mm	61	9	30	シートバー	3,089
						0 35	66	8	609	ピレット	2
						計	256	5	2,656	フェロクロム其他	26
								4	11	ケツグスチール	53
								3	149		

昭和6年9月中當所品種寸法別生産高 (其ノ一) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		帶鋼		乙形鋼						B.W.G.No.	
丸鋼		67mm	37	mm mm n mm		3	14	.66	259	30	381
9 mm	4,379	68	19	50×40×100	20	3.2	951	.67	36	29	4
13	7	82	70	計	20	3.5	2	.72	24	計	2,016
15	14	92	88	工形鋼		3.6	1	.75	15	二級品板	
18	155	95	26	mm mm		4	68	.77	12	大形切板	275
19	69	100	65	100×75	120	4.5	42	.85	17	大形耳付	682
21	47	102	10	125×75	48	5	5	.90	11	計	957
22	16	計	315	200×100	221	6	37	1.00	12	鋼板計 15,925	
23	2	八角鋼		250×150	305	6.5	1	1.14	15	軌條の部	
24	6	19mm	1	350×150	1,599	7	19	1/16	3	軌條	
25	2	計	1	24"×7 1/2"	1,167	8	108	1/8	1	6K	63
28	76	棒鋼計 12,289		計	3,460	9	26	1/2	5	8	85
30	23	型鋼の部		丁形鋼		10	1,199	計	7,465	9	854
32	62	等邊山形鋼		1 1/2"×1 1/2"	1	11	7	耳付鋼板		12	543
50	217	20mm	223	計	1	12	154	4.5mm	123	15	436
55	140	25	296	シートパイピング		13	13	6	56	37	4,778
60	4	30	359	mm mm		14	141	8	45	50	6,489
65	134	35	28	400×100	1,312	15	102	9	215	計	13,248
70	58	40	111	計	1,312	16	94	11	4	附屬品	
75	86	型鋼計 8,184		鋼板の部		17	13	12	287	目板22K用	69
80	30	條鋼計 20,473		鋼板(0.7mm以下)		18	39	16	33	スパイキ	17
90	86	鋼板の部		鋼板(0.7mm超)		19	90	19	143	トラックボートナット	7
95	22	0.5mm sheets	5	0.8mm	8	20	28	25	69	計	93
100	70	13	989	1	13	22	100	計	911	軌附計 13,341	
計	5,705	10	1,954	B.W.G.No.		25	4	編鋼板		線釘材の部	
角鋼		7	171	30	210	26	42	4.5mm	102	線材	
12mm	326	6	1	28	5	27	26	6	162	5.5mm	3,046
38	36	75	224	計	3,334	28	13	8	77	計	3,046
50	7	75	265	鋼板の部		29	3	9	33	製釘材	
65	128	90×75	68	鋼板(0.7mm以下)		30	75	1/4"	1	5.5mm	3,045
75	117	125×75	42	鋼板(0.7mm超)		31	4	計	375	計	3,045
90	8	125×90	11	0.8mm	8	32	11	耳付編板		線材	
95	3,085	150×100	81	1	13	34	68	4.5mm	94	5.5mm	3,046
100	7	計	2,410	1.2	1	35	6	6	82	製釘材	
計	3,714	不等邊山形鋼		1.3	1	36	100	8	9	5.5mm	
平鋼		溝形鋼		1.4	4	37	8	9	53	計	3,045
19mm	356	mm mm		1.5	15	38	20	12	4	線釘計 6,091	
60	2	50×35	32	1.6	2,104	39	11	計	242	其他の部	
65	127	65×50	103	1.8	2	40	13	ユニバーサル平鋼		鍛成品	
70	1	75×50	7	1.9	1	41	6	20mm	14	耳場鋼	10
75	506	75×65	46	2	69	42	57	130oz	5	電氣爐鋼	40
90	27	90×60	51	2.3	85	43	1	144	533	普通鋼	54
100	30	90×75	68	2.5	16	44	113	計	552	計	104
112	265	125×75	42	2.6	1	45	37	電氣鐵板		其他	
3 3/8"	9	125×90	11	0.8mm	8	46	37	0.35mm	58	車外鋼	18
計	1,323	150×100	81	1	13	47	6	0.43	15	軸輪線	329
スケルフ		計	441	1.8	2	48	50	計	73	ボルト	21
57mm	204	溝形鋼		1.9	1	49	36	力板		ナット	4
72	230	mm mm		2	69	50	166	lbs	985	其他	
75	13	125×65	188	2.3	85	51	35	170	495	軸輪線	
90	784	200×90	112	2.5	16	52	84	100	151	軸輪線	
計	1,231	250×90	241	2.6	1	53	38	95	151	軸輪線	
		計	541			54	49			軸輪線	
						55	24			軸輪線	
						56	49			軸輪線	
						57	24			軸輪線	
						58	1			軸輪線	
						59	25			軸輪線	
						60	48			軸輪線	
						62	106			軸輪線	

昭和6年9月中當所品種寸法別生産高 (其ノ二) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
リベット	79	銑		合金鐵		鋼塊		鋼片		短尺及屑鋼	
特殊鋼材	13	本所	27,337	フエロン	28	普通鋼塊	86,687	内部向	47,603	短尺	1,041
計	464	洞岡	16,038	シリコン		電氣爐塊	15	外部向	3,763	屑鋼	1,526
		戸畑	9,959			坩堝鋼塊	828	計	51,366		
其他計	568					鑄造鋼塊	556	シート	8,574		
鋼材合計	56,398	計	53,334	計	28	計	88,086	内部向	8,278	計	2,567
								外部向	16,852		

昭和6年8月中民間棒鋼生産高表 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸鋼		42	2	3¾	197	角鋼		平鋼		2	85
6mm	278	45	13	4	219	44mm	12	22.2mm	53	2¼	7
8	45	50	13	4½	74	50	7	26.5	70	2½	71
12	4,352	55	1	5	39	65	14	30.9	51	三級品	1
16	3,415	60	3	5½	44	75	8	36	106	計	1,205
19	3,066	65	5		173	90	3	38	66		
				二級品	192						
20	6	70	3	三級品				50	190		
22	3,218	75	26					63	9		
25	3,844	80	2					65	315		
28	362	83	11					75	43		
32	395	90	10					89	6		
34	28	95	4					100	7		
36	93	100	10					102	3		
38	154	3¼	679					1½"	8		
40	7	3½"	1	計	20,984	計	44	1¾	114	棒鋼合計	22,233

昭和6年9月中三港鋼材輸入數量表 (單位噸)

品 種	區 分	神 戸	大 阪	横 濱	9 月 計	前 月 計	本 年 累 計	前 年 同 期 累 計
丸	鋼	437	172	513	1,122	1,434	6,446	17,375
角	鋼	57	—	67	124	367	1,005	1,884
平	鋼	494	—	48)	983	769	3,722	8,432
等	山	173	—	—	173	85	320	7,449
不	等	11	26	—	37	7	226	4,489
溝	山	—	—	—	—	30	413	4,158
工	形	—	30	184	214	188	1,503	8,408
鋼	板(0.7mm超)	693	259	238	1,195	903	4,774	34,632
〃	(0.7mm以下)	474	874	148	1,496	2,941	12,357	25,575
鉄	力	1,885	338	2,861	5,084	3,676	28,612	43,412
軌	條	445	—	15	460	43	2,703	9,185
線	材	2,219	1,049	1,159	4,427	3,909	45,690	52,496
シ	管	256	—	10	266	93	5,799	22,490
ー	他	109	324	659	1,092	326	7,096	20,774
鋼		358	106	548	1,012	700	5,030	17,499
其		7,616	3,178	6,891	17,685	15,476	125,696	278,256
計								
硫	安	3	—	1,218	1,221	712	88,542	
石	酸	5	—	—	5	1	91	
ナ	ソ	347	46	—	393	207	2,045	
ク	ル	75	—	26	101	47	478	